

[表紙] iTRADE 機能説明 1

作 成 者	株式会社シナジスタ
作 成 日	2015年9月8日
最終更新日	2018年12月28日

目次

[表紙] iTRADE 機能説明 1	1
目次	2
仕掛けルール設定	5
全体セットアップ条件	5
「全体セットアップ条件」とは?	5
「全体セットアップ条件」各機能の説明	6
個別スクリーニング条件	8
「個別スクリーニング条件」とは?	8
「個別スクリーニング条件」各機能の説明	8
優先順位決定条件	11
「優先順位決定条件」とは?	11
「優先順位決定条件」各機能の説明	11
仕掛けルール	13
「仕掛けルール」とは?	13
「仕掛けルール」各機能の説明	13
手仕舞いルール設定	16
手仕舞いルール	16
「手仕舞いルール」とは?	16
「手仕舞いルール」各機能の説明	16
資金配分設定	19
「資金配分設定」とは?	19
「資金配分設定」各機能の説明	19
取引対象・その他設定	25
「取引対象・その他設定」とは?	25
「取引対象・その他設定」各機能の説明	25
条件ボタンについて	30
「条件追加」ボタン	30
「条件複製」ボタン	32
「条件削除」ボタン	33

「論理演算子」ボタン.....	34
「ON/OFF」ボタン.....	36
「アイデア」ボタン.....	36
「アイデア保存」ボタン.....	40
仕掛け・手仕舞いの条件ボタンについて.....	42
ORDER.....	42
ORDER 設定の条件.....	42
ORDER 設定.....	43
発注タイミング.....	45
詳細設定.....	46

本マニュアルは、会員専用サイトでご案内しています「iTRADE 逆引き 動画マニュアル」の

以下8つの説明動画、ドキュメント化したものです。

説明動画と合わせて、活用してください。

- ・5. 全体セットアップ条件
- ・6. 個別スクリーニング条件
- ・7. 優先順位決定条件
- ・8. 仕掛けルール設定
- ・9. 手仕舞いルール設定
- ・10. 資金配分設定
- ・11. 取引条件・その他
- ・12. 条件ボタン

仕掛けルール設定

「STRATEGY VISUAL BUILDER」画面の、「仕掛けルール設定」タグで設定できる各機能について説明します。



全体セットアップ条件

「仕掛けルール設定」の中の、「全体セットアップ条件」の機能について説明します。

「全体セットアップ条件」とは？

「全体セットアップ条件」は、個別の銘柄をスクリーニングする前に、環境認識をしてその日に取引をするのかどうかを設定する項目です。

例えば、市場全体が低調な時は動かさない様にする、逆に加熱している時は動かさない、などの前提条件をつけられることができます。

「全体セットアップ条件」各機能の説明

1 説明

条件を分かりやすいように説明が入力できます。

2 条件追加ボタン

現在の条件の他に新しく条件を追加する時に使います。
条件追加ボタンの詳細については、条件ボタンについて、を参照してください。

3 条件複製ボタン

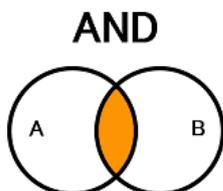
現在の条件を複製する時に使います。

4 条件削除ボタン

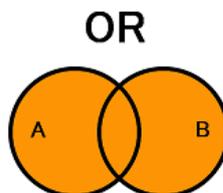
現在の条件を削除する時に使います。

5 論理演算子ボタン

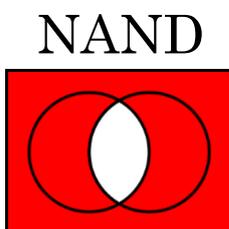
こちらでは、AND、OR、NOR の条件を設定したい時に使います。
ボタンを押すごとに、条件追加ボタンの下の「AND」の部分の表示が変わります。



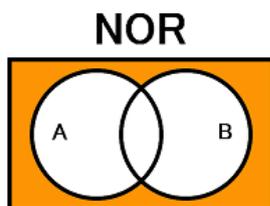
A と B の両方が含まれるもの



A または B のいずれかが含まれるもの



いずれの命題も真の時 False、それ以外は True



A と B の両方を含まないもの

6 ON/OFF ボタン

設定されている条件を ON にするか、OFF にするかを設定できます。
ボタンを押して、背景の色がグレーに変わりましたら、OFF ということです。

7 アイデア

アイデアライブラリにあるアイデアを使用したいときに使います。

8 アイデア保存

作成した設定をアイデアライブラリに保存することができます。

以上で、「全体セットアップ条件」の説明が終了です。

個別スクリーニング条件

「仕掛けルール設定」の中の、「個別スクリーニング条件」の機能について説明します。

「個別スクリーニング条件」とは？

様々な条件を設定してスクリーニングを行い、取引する銘柄の候補を抽出する設定項目です。

「個別スクリーニング条件」各機能の説明



1 メインシグナル

「メインシグナル」には、デフォルトで「SIGNAL01」が設定されています。
「メインシグナル」の他にいくつかシグナルを作成し、切り替えてバックテストをかけ、どのシグナルが良いか判断する時などに使用できます。
さらに高度な使い方になりますと、シグナルのカウントを取るためのシグナルを設定するなどの複雑な設定ができます。

2 シグナル追加ボタン

表示中のシグナルの追加を行います。
「シグナル追加」ボタンをクリックすると、「シグナル ID」の入力が求められます。

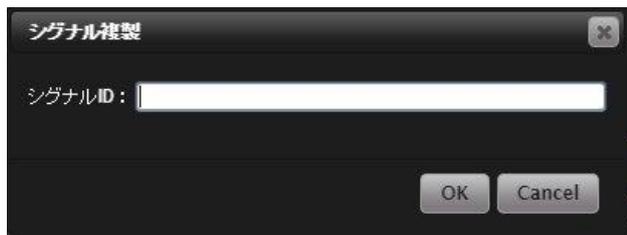


分かりやすい「シグナル ID」名を入力し「OK」ボタンをクリックするとシグナルが追加されます。

3 シグナル複製ボタン

表示中のシグナルの複製を行います。

「シグナル複製」ボタンをクリックすると、「シグナル ID」の入力が求められます。

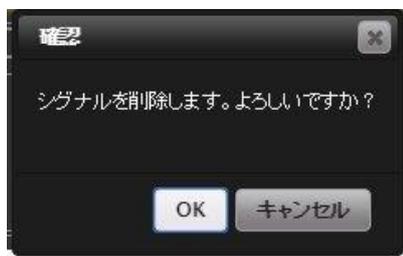


分かりやすい「シグナル名 ID」名を入力し「OK」ボタンをクリックすると、シグナルが複製されます。

4 シグナル削除ボタン

表示中のシグナルの削除を行います。

「シグナル削除」ボタンをクリックすると、下記画面が表示します。



「OK」ボタンをクリックすると、削除が完了します。

5 メインシグナル確定ボタン

複数のシグナルがある時、どれを「メインシグナル」にするのかを確定するときに使います。

「メインシグナル確定」ボタンをクリックすると、表示中のシグナルが「メインシグナル」になります。

「メインシグナル」に設定されているシグナルは、「個別スクリーニング条件」の下の「メインシグナル」に表示されます。

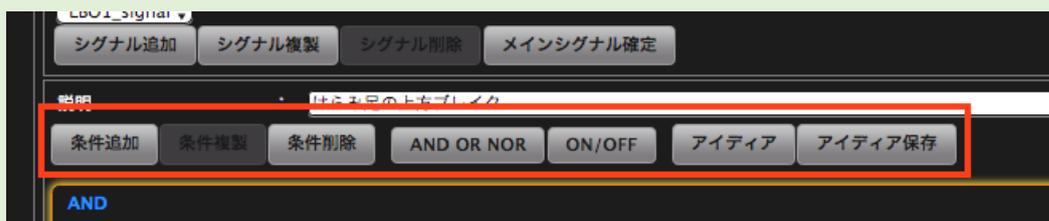


6 説明

「説明」部分には、スクリーニングの内容など、管理しやすいようにご利用ください。



条件ボタン類につきましては、「条件ボタンについて」をご覧ください。



以上で、「個別スクリーニング条件」の説明が終了です。

優先順位決定条件

「仕掛けルール設定」の中の、「優先順位決定条件」の機能について説明します。

「優先順位決定条件」とは？

スクリーニングで抽出した銘柄の優先順位の決定方式を設定する項目です。

「優先順位決定条件」各機能の説明



1-1 「アイディア」ボタン

「アイディア」ボタンをクリックすることで、下記「アイディア選択」画面が開き、条件を選択することができます。

デフォルトで優先順位の条件が設定されています。



アイデアライブラリを閉じる時は、右下の[OK]をクリックします。

1-2 「アイデア保存」ボタン

設定した優先順位決定条件を保存することができます。

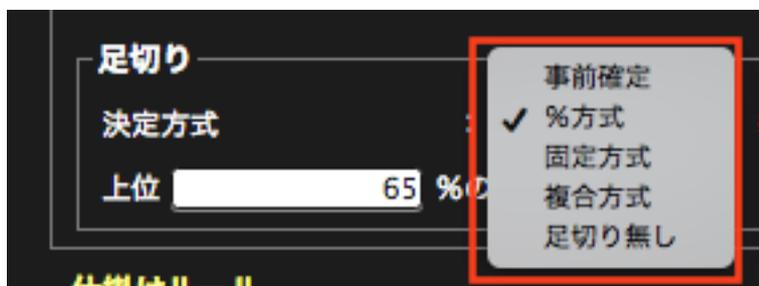
2 判定方法の設定

設定されている条件に対して、「水準無し」「以上」「以下」「より大きい」「より小さい」「と同じ」「と異なる」を選択した上で、設定値を入力することができます。



3 足切り

「足切り」とは、スクリーニングで抽出した中で対象とする銘柄を上位から選択することです。「決定方式」には、「事前確定」「%方式」「固定方式」「複合方式」「足切り無し」が選択できます。



- 「事前確定」は、買付け可能な残額をもとに上位から割り当てて銘柄数を事前に確定できます。
- 「%方式」は、入力した数値の%数で優先順位決定条件にあった銘柄を上位から抽出します。
- 「固定方式」は、優先順位条件決定条件の上位何位の銘柄を抽出するといった設定ができます。
- 「複合方式」は、「%方式」と、「固定方式」のいずれか小さい方を採用します。
- 「足切り無し」は、優先順位決定条件で抽出された銘柄の足切りを行わない設定になります。
- 日足バックテスト時には、事前確定を使用してください。

以上で、「優先順位決定条件」の説明が終了です。

仕掛けルール

「仕掛けルール設定」の中の、「仕掛けルール」の機能について説明します。

「仕掛けルール」とは？

「仕掛けルール」は、スクリーニングで抽出された銘柄が、どのような条件の時にエントリーするかを設定する項目です。

「仕掛けルール」各機能の説明



1 メイン注文ルール

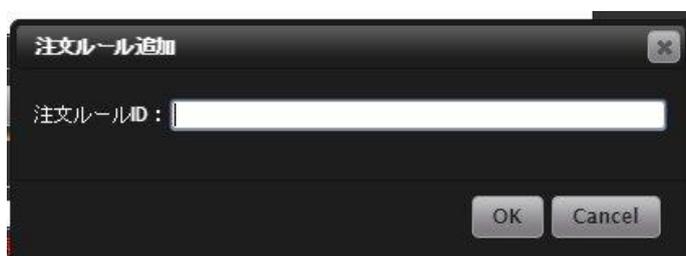
「メイン注文ルール」には、デフォルトで「ORDER01」が設定されています。

「メイン注文ルール」の他にいくつか注文ルールを作成することで、切り替えてバックテストをかけ、どの注文ルールが良いか判断することができます。

2 「注文ルール追加」ボタン

「注文ルール追加」ボタンから、注文ルールを追加することができます。

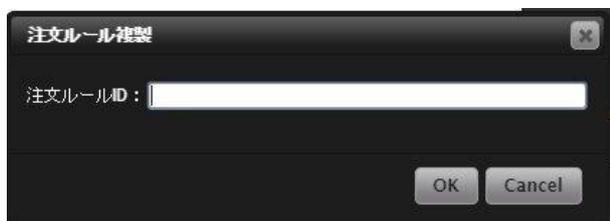
「注文ルール追加」ボタンをクリックすると、下記「注文ルール追加」画面が表示されるので、管理しやすい ID 名を入力し、「OK」をクリックすると注文ルールが追加されます。



3 「注文ルール複製」ボタン

「注文ルール複製」ボタンから、表示中の注文ルールを別 ID 名で登録することができます。同じ条件で数値を変更し、バックテストを行いたい時などに利用できます。

「注文ルール複製」ボタンをクリックすると、下記「注文ルール複製」画面が表示されるので、管理しやすい ID 名を入力し、「OK」をクリックすると注文ルールが複製されます。

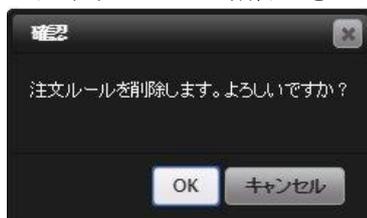


4 「注文ルール削除」ボタン

「注文ルール削除」ボタンから、表示中の注文ルールを削除することができます。

「注文ルール削除」ボタンをクリックすると、下記「確認」画面が表示されるので、「OK」をクリックすると注文ルールが削除されます。

メイン注文ルールは削除できません。



5 「メイン注文ルール確定」ボタン

注文ルールを複数設定した場合、「メイン注文ルール確定」ボタンから、どの注文ルールを「メイン注文ルール」にするか確定することができます。

確定したい注文ルールを表示させた状態で、「メイン注文ルール確定」ボタンをクリックすると、「メイン注文ルール」が確定します。

「メイン注文ルール」に複数の注文ルールがある場合、選択した注文ルールの内容がその下の「説明」部分に表示されます。



6 「説明」

「説明」部分には、仕掛けルールの内容を、分かりやすいように記入することができます。

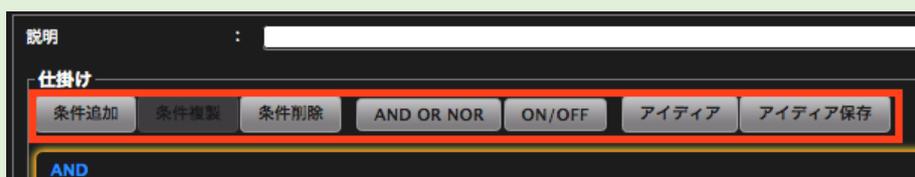
7 「仕掛け」

「仕掛け」では、条件毎に、「指値」「成行き」「逆指値」など、細かく仕掛けの定義ができます。

条件の追加につきましては、「条件追加」ボタンから行います。

AND や OR の条件に注文条件が入るように設定して下さい。そうでないとストラテジーを保存できなくなります。

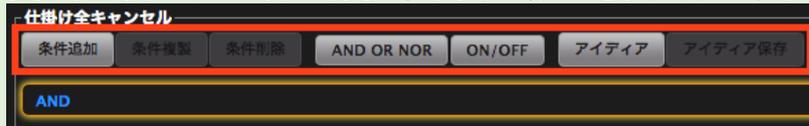
仕掛けエリアにある、条件ボタン類につきましては、「条件ボタンについて」をご覧ください。



8 「仕掛け全キャンセル」

「仕掛け全キャンセル」では、どのような条件の時に、仕掛けを全部キャンセルするかを設定することができます。

仕掛け全キャンセルエリアにある、条件ボタン類につきましては、「条件ボタンについて」をご覧ください。



以上で、「仕掛けルール」の説明が終了です。

手仕舞いルール設定

「STRATEGY VISUAL BUILDER」画面の、「手仕舞いルール設定」タグで設定できる各機能について説明します。



手仕舞いルール

「仕掛けルール設定」の中の、「手仕舞いルール」の機能について説明します。

「手仕舞いルール」とは？

「手仕舞いルール」は、仕掛けルールで保有したポジションをどのような条件で手仕舞うかを設定する項目です。

「手仕舞いルール」各機能の説明



1 「注文ルール」表示

「手仕舞いルール」の「注文ルール」は、「仕掛けルール設定」で設定している注文ルール ID が表示されます。

「仕掛けルール設定」タブの



「メイン注文ルール」を変更すると、



「手仕舞いルール設定」タブの、「注文ルール」も変更されます。



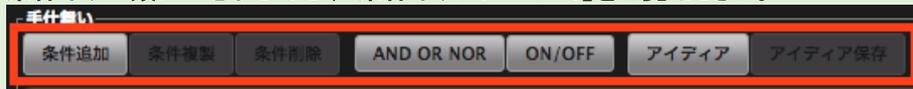
2 手仕舞い

「手仕舞い」では、条件毎に、「指値」「成行き」「利食い」「損切り」など、細かく手仕舞いの定義ができます。

条件の追加につきましては、「条件追加」ボタンから行います。

AND や OR の条件に注文条件が入るように設定して下さい。そうでないとストラテジーを保存できなくなります。

条件ボタン類につきましては、「条件ボタンについて」をご覧ください。



4 手仕舞い全キャンセル

「手仕舞い全キャンセル」で、どのような条件のときに手仕舞いを全部キャンセルするかの設定ができます。

手仕舞い全キャンセルエリアにある、条件ボタン類につきましては、「条件ボタンについて」をご覧ください。



以上で、「手仕舞いルール」の説明が終了です。

資金配分設定

「STRATEGY VISUAL BUILDER」画面の、「資金配分設定」タグで設定できる各機能について説明します。

STRATEGY TEMPLATE BUILDER

サーバへ保存

ストラテジーID : BO_L_ON_Harami_

説明 : ブレイクアウト_買い_オーバーナイト(はらみ足上方ブレイク)戦略

ヒストリカルモード : 日 ▼

仕掛けルール設定 手仕舞いルール設定 **資金配分設定** 取引対象・その他設定

「資金配分設定」とは？

「資金配分設定」は、ストラテジー単位に運用したい資産の割り当てや、ポジションサイズの設定を行う項目です。また、すでに保有しているポジションがある場合、新規に同じポジションを持つかどうか等、細かい設定もできます。

「資金配分設定」各機能の説明

1 レバレッジ

レバレッジ

想定運用資金 = 戦略資金 × (100% - 【最低現金維持率】) × 【レバレッジ】

レバレッジ : 3.0 倍

複利方式 : 日次 ▼

- 「レバレッジ」
「レバレッジ」を設定することができます。
日本の信用取引は、「レバレッジ」がおよそ 3 倍ですので、「3.0」まで設定します。
- 「複利方式」
「複利方式」では、「単利」「単変」「日次」「週次」「月次」「年次」を選択することができます。

2 投入資金



- 「平常時の一日あたりの最大投入資金」
「想定運用資金」の○%を利用するかを設定できます。
- 「特定条件での自動資金調整」
ボタンになっているのでクリックします。



相場が過熱感のある状況の時に、売買枚数を調整してリスクを減らしたい時などに使います。
相場の過熱感を計る指標などを条件に追加して、指標の状況が過熱感を示す状態になっている時に、
資金配分を自動で調整することができます。

- 「説明」
「説明」部分には、設定した条件を分かりやすく説明した内容が入力できます。

※条件追加などの条件ボタンにつきましては、条件ボタンについての動画を参考にしてください。

3 ポジションサイズ

ポジションサイズ

決定方式 : 配分率方式 ※【複合方式】の場合 【変動幅方式】

配分率方式

ポジションサイズ = 戦略別想定運用資産 × 銘柄別資金分配率 ÷ エントリー価格

銘柄別資金分配率 : %

売買代金制限

日 平均出来高の %

日 最大出来高の %

で上限を設定する。

- 「決定方式」

「変動幅方式」「配分率方式」「複合方式」「固定方式」「保有数限定方式」のいずれかを設定できます。

「変動幅方式」を選択した場合は、「変動幅方式」のみ表示します。

ポジションサイズ

決定方式 : ※【複合方式】の場合

変動幅方式

ポジションサイズ = 戦略別想定運用資産 × 銘柄別リスク率 = 【変動幅】

銘柄別リスク率 : %

変動幅条件

日 前 + ティック

「配分率方式」を選択した場合は、「配分率方式」のみ表示します。

ポジションサイズ

決定方式 : ※【複合方式】の場合

配分率方式

ポジションサイズ = 戦略別想定運用資産 × 銘柄別資金分配率 ÷ エントリー価格

銘柄別資金分配率 : %

- 「変動幅方式」

個別株の値動きに対してどこまでリスクをとるかという事を、あらかじめ1銘柄に仕掛けるポジションサイズを決める事が出来る設定項目です。

- 「配分率方式」

ストラテジー毎に設定した資金量に対して、1つの銘柄で資金量の何%までポジションサイズを持てるのかという設定ができる項目です。

➤ 「複合方式」

複合方式の場合は、「変動幅方式」と「配分率方式」の両方が表示されますが、いずれか小さいものが採用されます。

ポジションサイズ

決定方式 : 複合方式 ※【複合方式】の場合

変動幅方式

ポジションサイズ = 戦略別想定運用資産 × 【銘柄別リスク率】 + 【変動幅】

銘柄別リスク率 : 1 %

変動幅条件

1 日 前 + 1 ティック

ATR

5 本

×

1 倍

配分率方式

ポジションサイズ = 戦略別想定運用資産 × 【銘柄別資金配分率】 ÷ エントリー価格

銘柄別資金配分率 : 10 %

➤ 「固定方式」

ポジションの単元数を固定設定できる項目です。

ポジションサイズ

決定方式 : 固定方式 ※【複合方式】の場合

固定方式

ポジションサイズ = 【固定単元数】

固定単元数 : 0

➤ 「保有数限定方式」

ポジションサイズにおける最大保有単元数を確定する項目です。

ポジションサイズ

決定方式 : 保有数限定方式 ※【複合方式】の場合

保有数限定方式

ポジションサイズ = 【最大保有単元数】 - 現在保有単元数

最大保有単元数 : 0

● 「売買代金制限」

1銘柄当たりの売買代金に制限を設定する項目です。

取引量が多い方の場合、その銘柄の出来高によっては、自分の発注が不利になることがあります。

それを防ぐために、出来高に応じて、取引量の上限を設定できるところです。

4 最小発注金額・最大発注単元数

最小発注金額	:	<input type="text" value="10000"/>	※ 0で制限なし
<input checked="" type="checkbox"/> 最大発注単元数	:	<input type="text" value="50"/>	※ 空売り規制用

- 「最小発注金額」

設定した金額以下の銘柄の発注を行わないように設定ができます。

「0」にすると、制限なしになります。

- 「最大発注単元数」

空売りの際の、最大発注単元数を設定できます。

空売りには取引枚数に規制があるため、最大 50 までの制限を掛けられます。

※例えば、最低単元が 100 の場合、 100×50 で、5000 枚までの発注となります。

最低単元が 1000 の場合、 1000×50 で、50000 枚までの発注となります。

ストラテジーに「空売り」の仕掛けルールがある場合は、チェックを入れて使用します。
ない場合は、チェックを外しておいてください。

5 その他



- 「同一銘柄取引許可」

同一の銘柄でポジションを既に持っている場合、その銘柄で新たに追加ポジションを持つかどうかの制御ができます。ナンピンを許すかどうかなどもこれに値します。

- 「資金拘束リトライ」

この機能は、バックテストにおきましては使用しないでください。

「False」のままの設定でご利用ください。

「なぜバックテストでは使用しないのか？」

実際の証券会社への発注の際に、資金が不足して発注できない場合、別のポジションが手仕舞いされ、資金的に発注可能になるまでリトライするかどうかを設定する項目の為です。

以上で、「資金配分設定」の説明が終了です。

取引対象・その他設定

「STRATEGY VISUAL BUILDER」画面の、「取引対象・その他設定」タグで設定できる各機能について説明します。



「取引対象・その他設定」とは？

「取引対象・その他設定」では、「ストラテジー」で扱う銘柄の市場と業種が指定できます。

「取引対象・その他設定」各機能の説明

1 取引対象指定方式

「市場・業種」か「指定銘柄のみ」を選択できます。



- 「市場・業種」

「市場・業種」を選択すると、下記画面が表示され、「市場」と「業種」を選択することができます。



- 「指定銘柄のみ」

「指定銘柄のみ」を選択すると、下記画面が表示され、銘柄を入力し指定することができます。

銘柄の追加に制限はありませんので、いくつでも入力可能です。



- 説明

「説明」部分には、設定した銘柄群を分かりやすく説明した内容が入力できます。

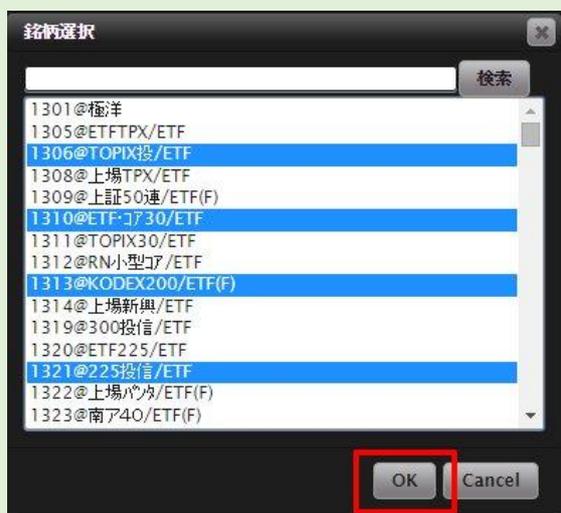
- 「銘柄追加」ボタン

「銘柄追加」ボタンから銘柄を選択することができます。

「銘柄追加」ボタンをクリックすると、下記が表示されるので、選択し「OK」をクリックすると、銘柄が追加されます。



コントロールキーを押しながら、複数の銘柄を選択しますと、複数の銘柄を一度に登録できます。



➤ 「銘柄削除」ボタン

銘柄群の中から選択した銘柄を削除できます。



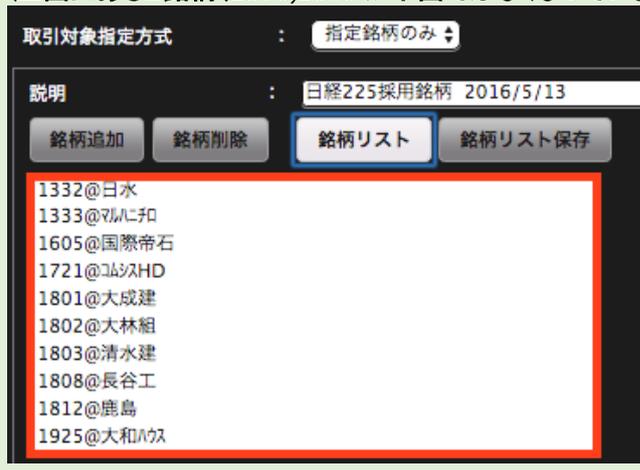
➤ 「銘柄リスト」ボタン

「銘柄リスト」ボタンを選択することにより、銘柄リスト選択が出ますので、マスターもしくはユーザー(ご自分で作成したもの)のリストを使用することができます。



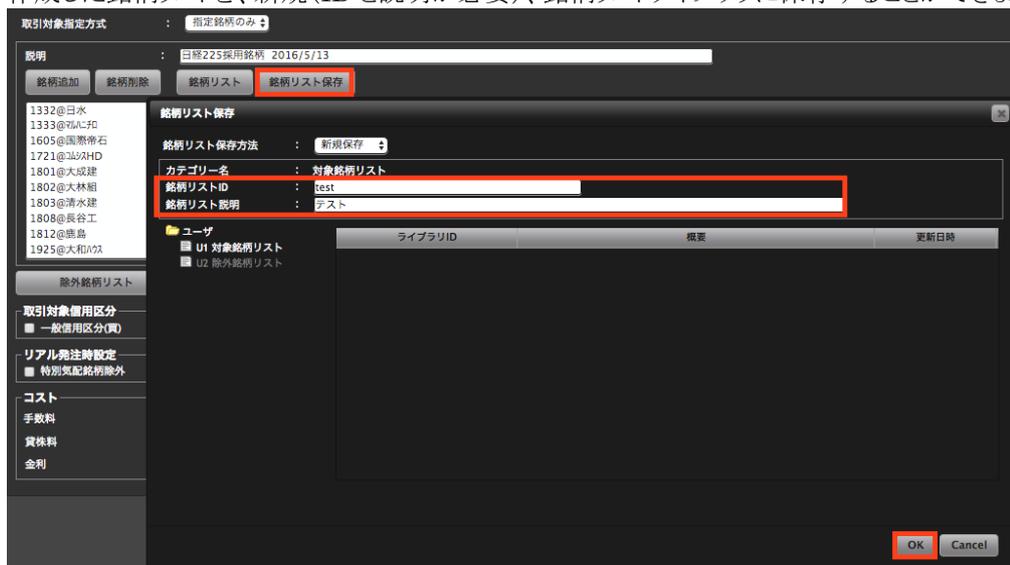
銘柄リストを選んだ場合、それまで選択していた銘柄に上書きされたことになり、それまであった銘柄が消えてしまうので注意が必要です。

(上図にある2銘柄(1306,1308)が下図ではなくなっています。)



➤ 「銘柄リスト保存」ボタン

作成した銘柄リストを、新規(IDと説明が必要)、銘柄リストライブラリに保存することができます。



2 「除外銘柄リスト」ボタン

除外銘柄とは、取引対象銘柄群に入っていた場合に、取引銘柄から除外したい銘柄を設定するところです。



これは 1 取引対象指定方式の「指定銘柄のみ」を参照してください。
違いは対象銘柄リストを使用したのに対し、除外銘柄リストを使用することです。

3 取引対象信用区分



取り扱う信用取引について、「一般信用区分」や「制度信用区分」の指定ができます。
複数チェックを入れることも可能ですが、AND(重複しているところ)になってしまいますので1つ選ぶことをお勧めします。
リアルトレードでは一般信用にチェックを入れても制度信用区分にて発注致します。

4 リアル発注時設定

リアル発注時設定
 特別気配銘柄除外

特別気配の銘柄取引を行わないようにする設定ができます。

チェックをいれると、新規売買を行おうとしている方向の特別気配になっている銘柄の取引を行わなくなります。

* 現在、特別気配銘柄除外は機能しておりません。

5 コスト

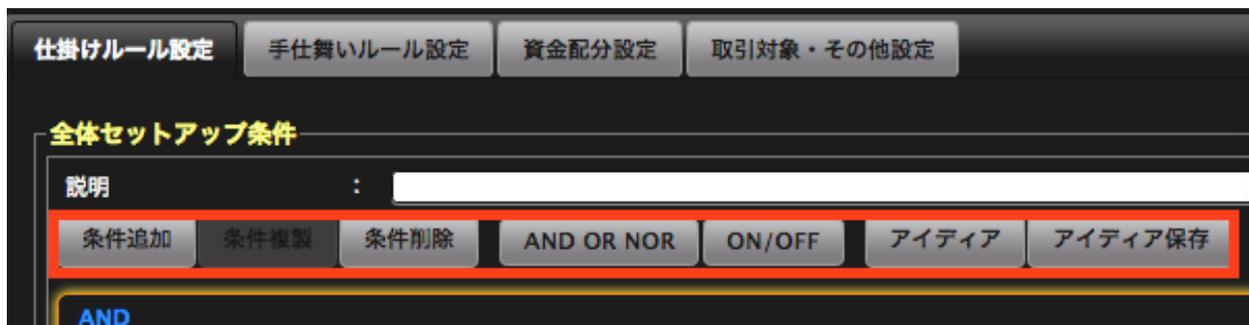
コスト
手数料 : 自動 ▼ 500 ※ 固定の場合 入力値が片道手数料
貸株料 : 1.15 %
金利 : 2.98 %

- 「手数料」
「自動」を選択すると、「カブドットコム証券」の手数料金体系が自動で適用されます。
「固定」を選択すると、入力値が片道手数料として固定の金額が計算されます。
- 「貸株料」「金利」
デフォルトでは、「カブドットコム証券」の数字が入力されています。
「固定」時に数値を変更する事が可能です。

以上で、「取引対象・その他設定」の説明が終了です。

条件ボタンについて

「STRATEGY VISUAL BUILDER」画面の、
様々な項目に付いている、条件ボタン類について説明します。



「条件追加」ボタン

1 「条件追加」方法

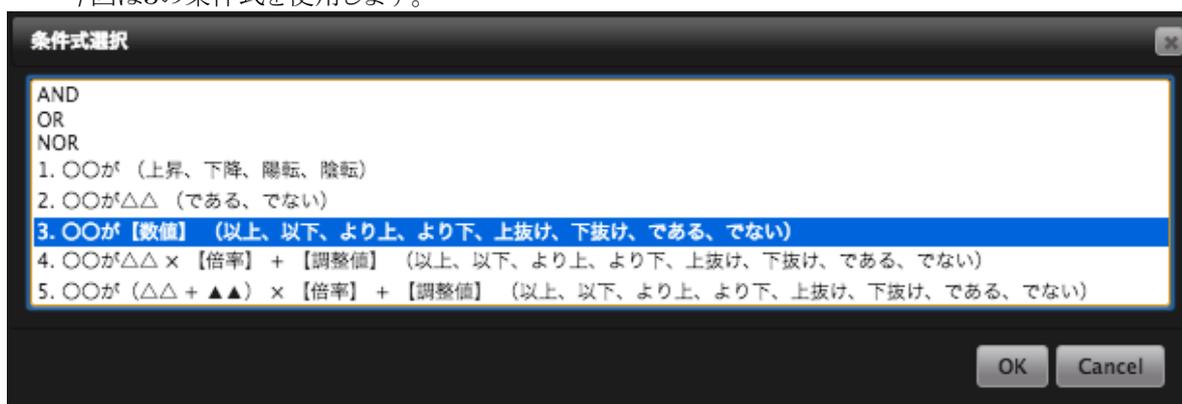
条件を1つ追加する方法を説明します。

(下記では、例として「個別スクリーニング条件」の設定について説明しています。)

1. 「条件追加」ボタンをクリックする。



2. 下記「条件式選択」画面が表示されるので、作成したいルールに合った条件式をクリックします。
今回は3の条件式を使用します。



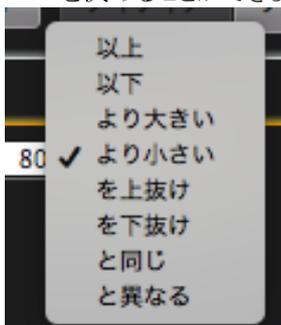
- 個別スクリーニング条件の一番下に新しい条件が追加されます。
今は便宜上、一番上に持ってきて説明を進めます。



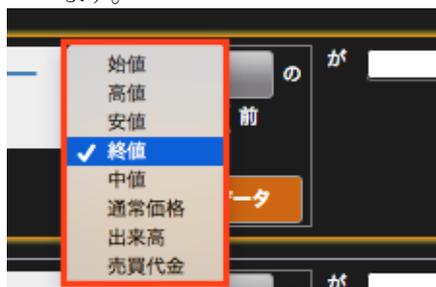
- ① ここをクリックすると要素選択が出てきますので、そこから要素(指標)を選択します。
本数を入力する指標の場合は 450 本を超えないようにして下さい。
バックテストでは問題ありませんが、リアルトレードにおいて 450 本を超えると取引出来なくなります。



- ② ここをクリックすると、「以上・以下・より大きい・より小さい・を上抜け・を下抜け・と同じ・と異なる」のうちから選択し、数値を決めることができます。

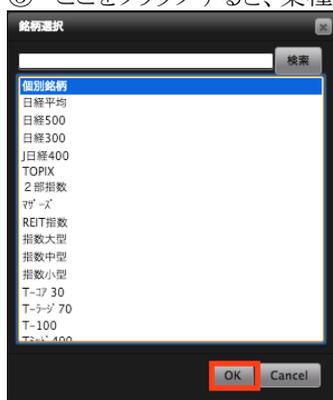


- ③ ここをクリックすると、要素(指標)を構成する「始値・高値・安値・終値・中値・通常価格・出来高・売買代金」を選択できます。



- ④ 仕掛け日の何日前の要素(指標)かを決定します。

- ⑤ ここをクリックすると、業種や、各銘柄なども選択できます。(通常は個別銘柄のまま使用します。)



「条件複製」ボタン



「条件複製」ボタンでは、選択中の条件をそのまま複製することができます。
例えば、アイデアライブラリから、条件の追加や複製を行い、パラメーターを少し調整といった時などに使います。

1 「条件複製」方法

以下に、条件を複製する方法を説明します。

1. 複製したい条件を選択する。



2. 「条件複製」ボタンをクリックする。



3. 同じ内容の条件が追加します



「条件削除」ボタン



「条件削除」ボタンでは、現在選択中の条件を削除することができます。

1 「条件削除」方法

以下に、条件を削除する方法を説明します。

1. 削除したい条件を選択する。



2. 「条件削除」ボタンをクリックする。



下記画面が表示されるので、「OK」をクリックすると、削除完了です。



「論理演算子」ボタン

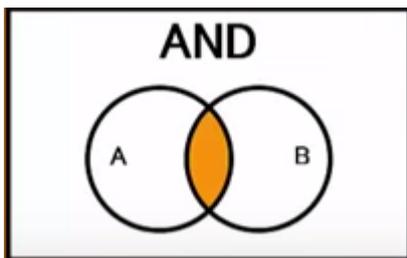


「論理演算子」ボタンでは、それぞれの条件同士の関係を設定することができます。設定されている表示名をクリックすると、変更することができます。

(上記画面の場合、左下の「AND」上をクリックすると、「論理演算子」を変更することができます。)

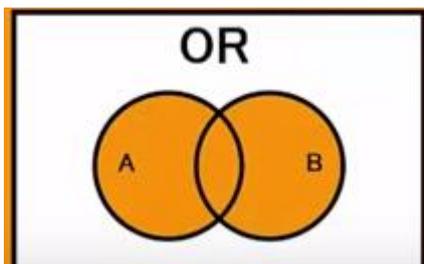
1 「AND」の場合

「条件 A」と、「条件 B」の両方が含まれる」という設定になります。



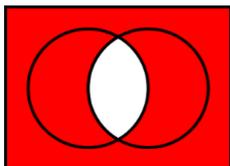
2 「OR」 の場合

「条件 A」または、「条件 B」のいずれかが含まれる」という設定になります。



3 「NAND」 の場合

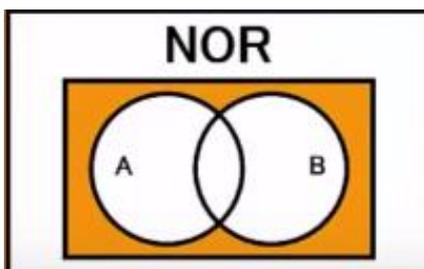
NAND



いずれの命題も真の時 False、それ以外は True

4 「NOR」 の場合

「条件 A」と、「条件 B」を含まない」という設定になります。



「ON/OFF」ボタン



「ON/OFF」ボタンでは、選択中の条件に対して、「ON」「OFF」の設定ができます。

1 「ON/OFF」設定方法

1. 条件を選択する。



2. 「ON/OFF」ボタンをクリックする。
「OFF」にした場合は、背景がグレーに変わります。



3. もう一度「ON/OFF」ボタンをクリックすると、「ON」に変わります。

以上で、「条件ボタン」の説明が終了です。

「アイデア」ボタン

1 「アイデアライブラリ」の表示

「アイデア」ボタンをクリックすると、それぞれの条件項目に沿って、アイデアライブラリが開きます。

- 「全体セットアップ条件」の場合
「全体セットアップ条件」で、「アイデア」ボタンをクリックすると、



下記、「アイデア選択」画面が表示され、「マスター」、「ユーザー」それぞれの「全体セットアップ条件」を、アイデアライブラリから追加することができます。



- 「個別スクリーニング条件」の場合
「全体セットアップ条件」で、「条件追加」ボタンをクリックすると、



下記、「アイデア選択」画面が表示され、「マスター」、「ユーザー」それぞれの「個別スクリーニング条件」を、アイデアライブラリから追加することができます。



このように、「条件追加」ボタンは、それぞれに必要な箇所のアイデアライブラリを開くことができます。

2 「アイデア追加」方法

アイデアを1つ追加する方法を説明します。

(下記では、例として「個別スクリーニング条件」の設定について説明しています。)

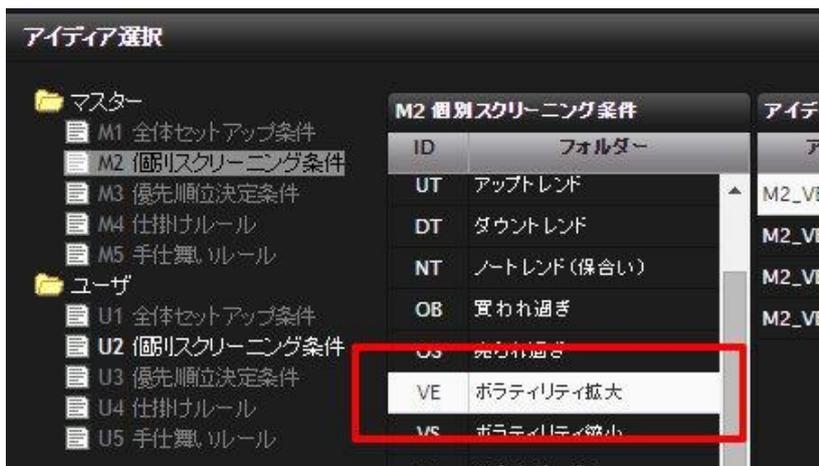
1. 「アイデア」ボタンをクリックする。



2. 下記「アイデア選択」画面が表示されるので、「マスター」の「個別スクリーニング条件」をクリックします。



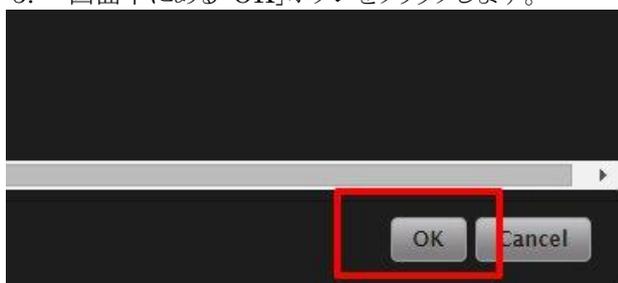
3. 「フォルダー」から設定したい項目を選択する。
(下記では、例として「ボラティリティ拡大」を選択しています。)



4. 「アイデア」から設定したい項目を選択する。
(下記では、例として「ATR ボラティリティが拡大」を選択しています。)



5. 画面下にある「OK」ボタンをクリックします。



6. 選択した条件が追加されました。



「アイデア保存」ボタン

保存したいルールを選択し(複数可)「アイデア保存」ボタンをクリックします。選択中の箇所が保存されます。



下図が出てきます。

アイデア保存

アイデア保存方法: 新規保存 上書き保存

カテゴリ名: 個別スクリーニング条件
件

フォルダー名: 統計

アイデアID: test

アイデア説明: テスト

ユーザー: U1 全体ストップアップ条件
U2 個別スクリーニング条件
U3 優先順位決定条件
U4 仕掛けルール
U5 手仕舞いルール

ID	フォルダー	アイデアライブラリID	種別	概要	更新日時
od	買値の幅	U2_r3_rci3	複合条件	統計の数値により損益の偏りを掴む (主にDDを下げる	2016/01/03 21:42:19
r3	統計	U2_r3_ske			2015/12/16 08:55:09
de	である				
ve	ボラティリティー拡大				
ga	ギャップ				
os	売られ過ぎ				
dt	ダウントレンド				
er	エリア				
ru	レンジ上方ブレイク				
hige	ヒゲ関係				

OK Cancel

1 アイデア保存方法

新規保存または上書き保存かを選択します。

2 アイデア ID・アイデア説明

新規の場合は、ID と説明を記入します。
上書き保存の場合は説明だけ記入します。

3 ユーザー

どの条件からアイデア保存に入ったかによって、U!~U5 の選択できる場所が特定されます。
ここを選択すると黄枠のフォルダーID 選択部が出てきます。

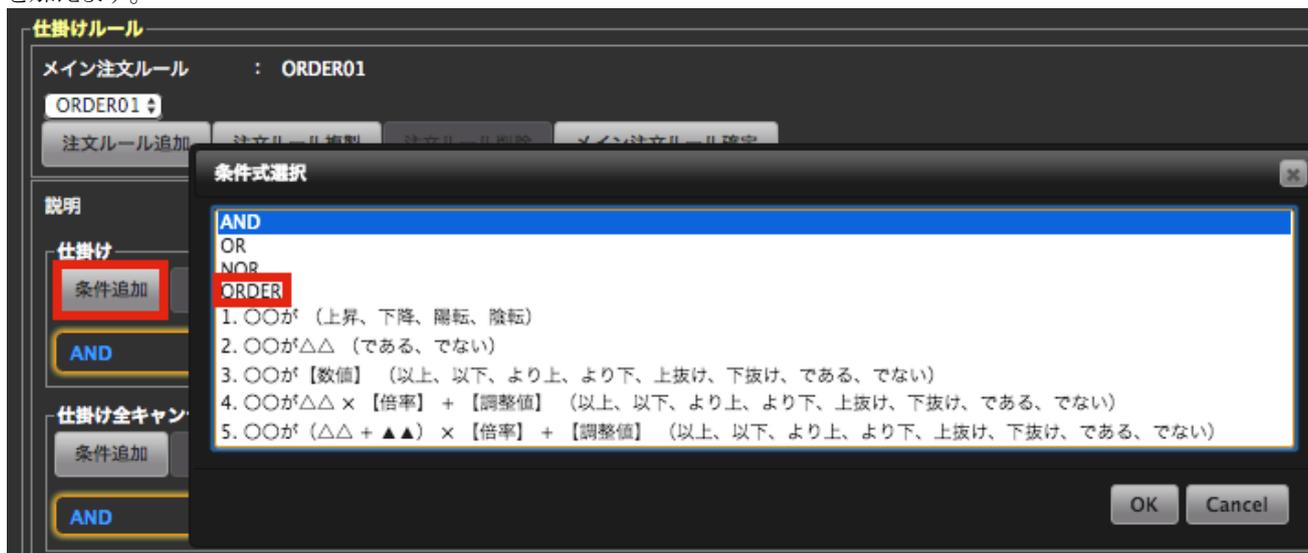
4 フォルダーID 選択

どのフォルダーに保存したいのかを選択します。
そのためにはライブラリでフォルダーを作成しておく必要があります。

以上で、「条件ボタンについて」の説明が終了です。

仕掛け・手仕舞いの条件ボタンについて

条件ボタン使用方法は、他と同じなのですが、「条件追加」の条件式選択にある ORDER が他とは違うのでここで別に説明を加えます。

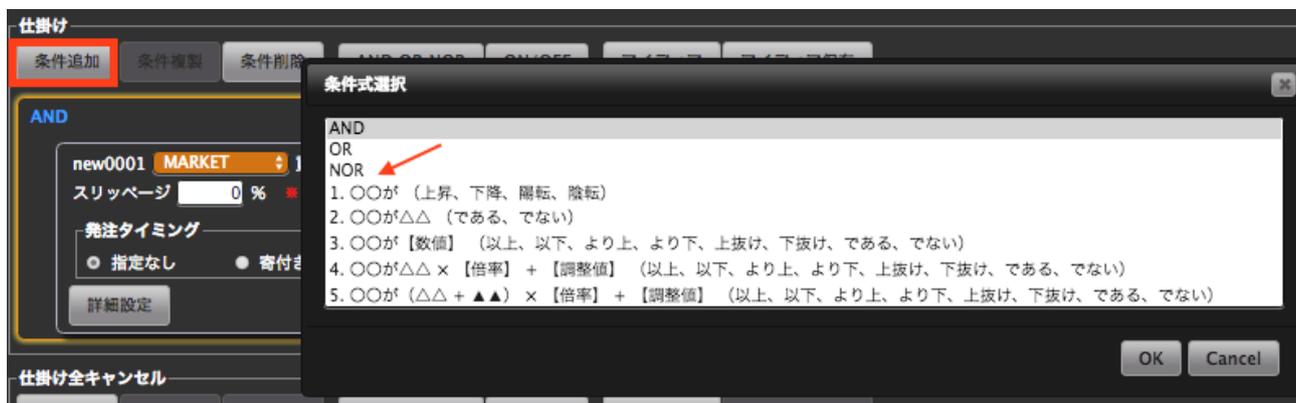


ORDER

仕掛け、手仕舞いを行うためには必ず1つずつ使用しなくてはならないものです。これを設定して初めて売買が行われるようになります。

ORDER 設定の条件

オーダーは、必ず1つの AND,OR,NOR のいずれかに対し、1つしか設定できません。



上の画面は、AND の枠内にすでに ORDER があるため条件追加をクリックしてでてくる条件式選択には ORDER がありません。

ORDER 設定

条件式選択で ORDER を選択すると、下記画面が出てきます。



「LIMIT」をクリックすることにより、発注ルールの変更ができます



MARKET

成り行き発注のことです。

LIMIT

指値発注のことです。

RVS_TRG_MARKET

ストップ(逆指値)注文です。

トリガー条件を満たしたときのみ、成行注文がされます。

買いの場合、下から上に値段が動くとき仕掛けます(売りはその逆です)

このとき、リアルトレードでは不利な方向へ値が動きやすいので、バックテストを行うときは必ずスリッページを設定することが必要です。

バックテストでは大引け限定以外の RVS_TRG_MARKET や、TRG_MARKET にてトリガー価格が当日の 4 本値から外れる場合に、売買方向関係なく、トリガーに設定されている価格が高値を上回っていたら高値、安値を下回っていたら安値になるようになります。

買い RVS_TRG_MARKET のトリガーON は、

寄付き時点: トリガー価格 \leq 始値

寄付きより後: トリガー価格 \leq 高値

売り RVS_TRG_MARKET のトリガーON は、

寄付き時点: トリガー価格 \geq 始値

寄付きより後: トリガー価格 \geq 安値

RVS_TRG_LIMIT

ストップ(逆指値)での指値注文です。

これは、価格滑りが不利な方向へ大きくなるときは、約定しないようにするためのルールです。

これをバックテストで使用しますとトリガー条件を満たすと発注価格で指値をだします。

買い RVS_TRG_LIM,IT のトリガーON は、
 寄付き時点：トリガー価格 \leq 始値
 寄付きより後：トリガー価格 \leq 高値
 売り RVS_TRG_LIMIT のトリガーON は、
 寄付き時点：トリガー価格 \geq 始値
 寄付きより後：トリガー価格 \geq 安値

TRG_MARKET

トリガー条件を満たしたときのみ、成行発注されます。

買い TRG_MARKET のトリガーON は、
 寄付き時点：トリガー価格 \geq (日足)始値
 寄付きより後：トリガー価格 \geq (日足)安値
 売り TRG_MARKET のトリガーON は、
 寄付き時点：トリガー価格 \leq (日足)始値
 寄付きより後：トリガー価格 \leq (日足)高値

TRG_LIMIT

トリガー条件を満たしたときのみ、指値注文されます。

買い TRG_LIMIT のトリガーON は、
 寄付き時点：トリガー価格 \geq (日足)始値
 寄付きより後：トリガー価格 \geq (日足)安値
 売り TRG_LIMIT のトリガーON は、
 寄付き時点：トリガー価格 \leq (日足)始値
 寄付きより後：トリガー価格 \leq (日足)高値

スリッページ

リアルトレードを行ったとき、約定して欲しい価格からずれることが多々あります。

(成行を使ったトリガー系注文の STOP と MIT を使用した時)

そのためバックテストをスリッページの設定なしに行くと現実とかけ離れた成績になります。

そのため、価格が不利な方向へずれてしまう可能性のあるルールには、スリッページ設定ができるようになっています。

TRG(トリガー)

これは、iTRADE の特徴の一つで、

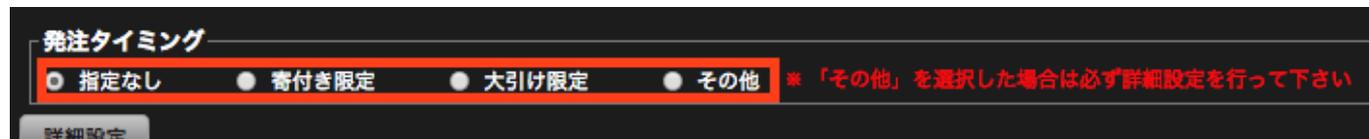
通常、仕掛けで発注を行ったときなどは、必要な資金が拘束されてしまいます。

それを防ぐために、約定しそうなところまでレートが来てから発注をするという優れものです。

これを有効利用することによって、資金効率を格段に UP させることが可能となります。

発注タイミング

発注タイミングは、通常は指定なし・寄付き限定・大引け限定から選ぶことになると思いますが、それ以外の発注を行う場合は、その他を選択して、詳細設定を行ってください。



。

詳細設定

ここを使用するのは、iTRADE を習熟してからにしてください。
よく理解していないうちに使用すると、正しい成績が出なくなるのと、サーバー負荷がかかりご自身だけでなく、他のユーザー様へご迷惑をかける可能性があります。

「詳細設定」ボタンから、さらに細かい設定をすることができます。

「詳細設定」ボタンをクリックすると、下記画面のように設定できる項目が増えます。
元に戻すには、もう一度「詳細設定」ボタンをクリックしてください。

バックテストをできる限りリアルトレードに近い売買になるようにしていますが、すべての設定で完全に一致するわけではありません。

そのためバックテストにおける設定により、正しい売買データが取れないことがありますので、熟知してお使いください。

仕掛けルールの場合

- 仕掛け日の0営業日後(これで仕掛け当日を表します。)
- 指定なしや、セッション1寄り(前場寄り)等は詳細設定の上の、発注タイミングとリンクしています。
- 有効期限は、0日のままにしておいてください。(そうすることで、条件に合えば毎日発注しなおります。)
仮に有効期限を2日に設定しても、寄付き限定などで一度キャンセルされると仕掛けの有効期限のみ有効期限は終了致します。
- 「キャンセルは、条件ボタンについて」を参照してください。

手仕舞いルールの場合

- 仕掛け日は、通常1営業日後にし、場合によってはそれ以降としてください。
- もし、通常営業日後0日にしたい場合は(デイトレード)

iTRADE BUILDER のホームタブにて、「日足デイトレードの設定方法」へのリンクがありますので、そちらをご参照ください。

- 「キャンセルは条件ボタンについて」を参照してください。